

2011年度

科目名	衛生薬学特論				
担当教員	田中 慶一、谷 佳津治				
配当	薬学6			コード	32186
開期	前期	講時	水曜日2限	単位数	2
授業テーマ	命を守るためのサイエンスを学ぶ。				
目的と概要	衛生・公衆衛生的知識を基に、食品、有機・無機化学物質、微生物などの種々の因子が生体・生態に与える影響についての理解を深め、予防薬学など国民の保健衛生の向上に寄与できる問題解決能力を養うことを目的とする。				
成績評価法	平常点ならびに授業内での発表、レポート、小テストなどを基に総合的に判断する。				
テキスト					
参考書					
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	予習をして講義に臨むこと。 補助教員: 関 庚善、見坂 武彦				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標 (SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	動物実験代替法 ①動物実験からin vitro, in silicoへ(担当: 田中)	化学物質の安全性評価について説明できる。	独自	知識
			動物実験に関する問題点を説明できる。	独自	知識
			動物実験代替法の概略を説明できる。	独自	知識
2	講義	動物実験代替法 ②動物実験代替法の実験系(担当: 田中)	動物実験代替法に用いられる生物学的実験系について説明できる。	独自	知識
			動物実験代替法に用いられる非生物学的実験系について説明できる。	独自	知識
3	講義	動物実験代替法 ③培養細胞等を用いた毒性評価のための代替法(担当: 田中)	刺激性試験の代替法について説明できる。	独自	知識
			急性毒性試験の代替法について説明できる。	独自	知識
			生殖毒性試験の代替法について説明できる。	独自	知識
			薬物動態試験の代替法について説明できる。	独自	知識
4	講義	動物実験代替法 ④非生物学的材料およびコンピュータプログラムによる毒性評価(担当: 田中)	生物学的材料を用いない系での代替法について説明できる。	独自	知識
			コンピュータプログラムによる毒性予測について説明できる。	独自	知識
5	講義	微生物の病原性(担当: 谷)	感染成立に関わる因子を説明できる。	独自	知識
			発症に関わる因子を説明できる。	独自	知識
6	講義	病原微生物の生態(担当: 谷)	環境中における病原微生物の動態を説明できる。	独自	知識
			環境中の微生物をモニタリングする手法を説明できる。	独自	知識
7	講義	日和見感染原因微生物(担当: 谷)	日和見感染原因微生物の生態を説明できる。	独自	知識
			日和見感染原因微生物の生理を説明できる。	独自	知識
8	講義	遺伝子伝播による病原細菌の進化(担当: 谷)	細菌の遺伝子伝達(接合、形質導入、形質転換)について説明できる。	C8(4)	知識

			遺伝子水平伝達により獲得される代表的な形質を 列挙できる。	独自	知識
			代表的な病原細菌の微生物学的特徴について概 説できる。	独自	知識
9	講義	バクテリオファージ の産業利用 ～医 療、農業、食品分野 を中心に～(担当: 谷)	バクテリオファージの微生物学的特徴について概説 できる。	独自	知識
			産業利用におけるバクテリオファージの有用性につ いて、具体例を挙げて説明できる。	独自	知識
10	講義	地球温暖化と感染症(担当:谷)	地球規模の環境問題の成因、人に与える影響につ いて説明できる。	C12(2)	知識
			代表的な細菌・ウイルスの微生物学的特徴および、 それらが引き起こす疾患について概説できる。	独自	知識
11	講義	小括(担当:谷)	ヒト・環境の健全性と微生物の関わりを説明できる。	独自	知識
12	講義	実践健康食品学: 医薬品と健康食品 の違いのアドバイス (担当:田中)	医薬品と健康食品の成分についての違いをアドバ イスできる。	独自	知識
			医薬品と健康食品の表示についての違いをアドバ イスできる。	独自	知識
			健康食品の表示や成分における国際的な取り扱い の違いについて説明できる。	独自	知識
			健康食品の活用法を消費者に説明できる。	独自	知識
13	講義	薬毒物の中毒分析 法(担当:田中)	化学物質の吸収・分布・代謝・排泄に影響する生体 因子を説明できる。	独自	知識
			薬毒物の中毒症例を説明できる。	独自	知識
			薬毒物の中毒原因物質が分析できる。	独自	知識
			薬毒物の解毒処置が説明できる。	独自	知識
14	講義	食物の科学(担当: 田中)	主な栄養素の消化・吸収を説明できる。	独自	知識
			栄養と疾病の関係について説明できる。	独自	知識
			薬と食品の相互作用について説明できる。	独自	知識
15	講義	総括(担当:田中、 谷)	薬剤師として、衛生薬学分野における高度な専門 知識を修得する。	独自	知識
授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C8(4) C12(2)	講義	講義室	2(2)	パワーポイント、配布資料	90(分)×15回